



■更新方法・立地

【どこに更新するか？】

- 病院は地域内に
- 他の施設と別に考えていい
- 連携しやすい立地
- 機能や規模との関係から場所を考えたい
- 労働福祉センターと連携
- 避難場所や防災シェルターと近接
- 住宅と親和性があるので一緒に萩小移転するのは
- 北公園などの公園はどうか
- 現状のままの社会医療センターなら住宅と離れた方がよい
- 継続するためには住宅と一緒に移転すべき
- 社医センが萩小に移転したら動線が厳しい（通勤の医師、看護師）

- 今の場所に近い萩之茶屋小学校への移転・建替えを希望（第2住宅も、住民の理解が得られれば、萩小への移転・建替えを検討）
- 建替えに伴って生活が破たんしないように（高齢・単身が多い）（福祉や見守り機能、子育て機能、商店機能などに配慮）
- 希望者はみんなで移転したい（ただし、移転・建替えまで、耐震強度不足が不安なので、待てない住民は他の市営住宅に移転できるようにしてほしい）
- これからを考えると、今の居住者分に加えて、多様な子育てファミリー世帯向けの住宅も必要（困窮世帯と中堅所得世帯の共存も）
- 画一的な公営住宅でなく、多様な住まいや他機能も組み込んでほしい

## ■現状・全体意見

### 【現状】

- 建物の状態
  - ・耐震性の問題など早急な対応を
  - ・明日危ない住宅をどうにかすべき
  - ・人の命を優先にすべき
  - ・地震がきたら大変（エレベーターが傾いている）
  - ・駐輪場がない
  - ・地震のときに自転車が倒れて危ない
- 居住者の状態
  - ・現在の平均年齢は70歳前後
  - ・10年先はみんなが年寄り。動ける人がいなくなる
- 第2住宅で心配なのは店舗（生活があるため）、当初28店舗、現在は10店舗
- 第1住宅126戸、第2住宅87戸
- 子育て世代向けの住宅が一棟も建っていない

### 【基本の考え方】

- 入居者のイメージは
  - ・若い世代のイメージは人それぞれ異なるのでは
  - ・家族世帯とは、具体的にどんな人なのか
- 前提に疑問
  - ・あいりん地域内で移転がすでに決まっているのでは
- 移転先は機能とボリュームによってかわるので細かな案は詰められない
- 小学校の跡地利用の話はまだしていないのでこの段階で住宅の話は？（思い入れがある）
- 費用的な問題、時期が分からない
- 参加できない労働者たちの意見を取り入れる
- 子育て層の増加に向けて
- 今宮小中一貫校に行く子どもが増えるように
- 建替えなどで生活が破たんしたら困る
- 現在の世帯と新しい世帯の共存は可能か

### 【市営住宅住民の思い】

- 意見を良く聞く
  - ・住民1人1人へ丁寧な説明や意見を聞く
  - ・住宅の事は、住人だけで別会議を
  - ・住人の班長を呼んでは
- これまでの生活を大事にしたい
  - ・居住者の繋がり（昭和45年以前からの住民のつながり）を大事にしたい
  - ・仮設住宅は地域内に
- 住民への正確な説明が不足
- 耐震問題は立退きの口実では

## ■これからの機能

### 【住宅の機能】

- ファミリー層の住める住宅
  - ・ここで子供が育つ住宅に（施策を、転用支援）
  - ・保育所を併設
  - ・新しい世代を呼び込む住宅に
  - ・簡宿から家族向け住宅に転用（簡宿の利用）
  - ・子育て世代の住宅免除を
  - ・子育てをするための安心が必要ではないか。①医療②防災③遊び場の機能があるのではないか
- 新しい住民の入りやすい住宅
  - ・単身・若者・高齢者など
  - ・だれもが安心して住める（来たくなるような住宅）
  - ・仕事をさがす少ししんどい人（地域に仕事があるから集まる）
  - ・労働者の単身用住宅（シェルターではなく、単身者が入れる住宅（低家賃））
  - ・子育てをしている家族に、「まちの良さ」をPRしてもらおう（安心できるまちになるのではないか）
  - ・倍率が低い「いいところ」だと宣伝してほしい